令和7年度主任相談支援専門員養成研修　事前課題

【地域援助の具体的展開Ⅰ】

　例を参考にして、現在、支援を展開している事例から選定し、地域課題を３つ以上抽出して下さい。

受講番号：　　　　　　　　　　　氏名：

|  |  |
| --- | --- |
| 事例（例） | Ａさん　46歳　女性　精神保健福祉手帳1級　障害支援区分４  居宅介護サービス利用　単身生活　障害年金と貯金で生計  Ａさんは、孤独感や不安感が強く対人関係が苦手でひきこもりがち。お菓子作り、料理、編み物が得意。両親が亡くなり単身生活となった際に叔母が市の福祉課に相談に行き事例化した。両親は世間体を気にして医療サービスしか利用しなかった。  Ａさんの希望は、自分を助けてくれる人がほしい。自分ができることで人に喜んでもらいたい。障害のある人ばかりが集まる場所には行きたくない。  地域の状況としては、健康づくりに熱心に取り組んでいるが、精神保健、精神障害への理解は進んでいない。  担当の相談支援専門員は、精神障害のある人の支援の経験が少なく、Ａさんにどのようにかかわればいいのか悩んでいる。 |
| 地域課題 | 1. 住民の精神保健、精神障害への理解が進んでいない。そのため両親が相談できなかった。 2. 誰でも参加できるサロンが少ない。 3. 支援経験の少ない相談支援専門員への助言指導の体制がない。 4. 潜在的な要支援者を把握する仕組みがない。 |
| 事例１ | 年齢：　　　性別：　　　障害名：　　　　手帳：　　　　障害支援区分：  利用福祉サービス：  事例概要：  ニーズ：    ※その他、必要と思われる事項 |
| 地域課題 |  |

研修当日、グループ用にご自分用も含めて６部印刷してご持参ください。

令和７年度主任相談支援専門員養成研修　事前課題

【地域援助の具体的展開Ⅱ】

地域生活支援拠点等については、第７期障害福祉計画の成果目標として、令和８年度末までの目標として、「地域生活支援の充実 ・各市町村において地域生活支援拠点等を整備するとともに、コーディネーターの配置などによる効果的な支援体制及び緊急時の連絡体制の構築を進め、また、年１回以上、支援の実績等を踏まえ運用状況の検証・検討を行うこととしている 。受講者の活動する市町村の、「整備後の課題やその解決に向けた取り組み」（整備されていない場合は、「整備に向けた取り組みの状況」や「課題となっていること」）について、下記項目も参考の上、記載して下さい。

受講番号：　　　　　　　　　　　氏名：

|  |
| --- |
| １　地域生活支援拠点等について、地域全体でその目的を共有している。  ２　地域生活支援拠点等における現状と課題を整理している。  （１）地域のストレングスの整理（含　インフォーマルな資源・住民のネットワーク）  （２）個別支援を通した課題の整理・障害児者のニーズの整理  （３）機能別整理  ①相談機能　②緊急時の受け入れ・対応の機能　③体験の機会・場の機能　④専門的人材の確保・養成の機能  （３）関係者のヒアリングによる整理  （４）協議会を活用した議論の整理   1. 運営方針や数値目標の整理   ３　地域生活支援拠点等におけるコーディネーターに求められる役割や業務等を整理している。  （１）拠点等のコーディネーターの配置については、相談支援事業所の地域生活支援拠点等機能強化加算の活用。  （２）拠点等は、地域生活支援拠点等・ネットワーク運営推進事業を活用。  ４　地域生活支援拠点等において、各機関が重層的、相補的な連携体制を構築している。  ５　地域生活支援拠点等を推進するため、協議会に専門部会やプロジェクトチームを組織している。  ６　地域生活支援拠点等（の整備）を推進するうえで、行政や関係機関の組織責任者のリーダーシップがある。  ７　地域生活支援拠点等（の整備）を推進するための計画（達成目標、戦略、スケジュール等）がある。  ８　地域生活支援拠点等の検証方法がある。 |